

平成二十九年 卒業式 式辞

梅の香漂う、このよき日に、来賓各位、並びに多数の保護者の皆様の、ご臨席を賜り、このように盛大に、平成二十九年、茨城県立、鹿島高等学校、卒業証書、授与式を、挙行できますことは、誠に喜ばしく、衷心より、感謝申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与されました、二百八十名の、卒業生の皆さん、鹿島高校での、三年間の努力の結果、晴れてこの日を迎えられました。皆さんが、最高の笑顔で、母校である鹿島高校から、巣立っていくことを、共に祝うことができることは、我々教職員にとって、最大の喜びであります。卒業、おめでとうございます。心から、お祝いを申し上げます。

世間では、ピョンチャンオリンピックの、興奮が醒めやらぬ中、このあとの、パラリンピックでの、日本選手団の活躍への期待が、盛り上がっているところです。国同士の対抗とは言っても、武器を用いる戦争とは違い、公平公正なルールの下での、技やスピード、美しさを競い合う、スポーツというイベントを、心から楽しむことができることは、本当に幸せなことで、テレビで観戦しながら、地球上の全ての国・地域が、このような平和になってほしいと、願った人はたくさんいることでしょう。しかし、現実には、今でも地球上のどこかで、戦争が行われています。起こりそうな場所も多いです。我々、この日本という国で、生まれ育った日本人にとっては、この平和な生活は、当たり前だと思っていますが、この当たり前だと思われている平和は、これまでもこれからも、努力せずに維持できるものではありません。みんなが、平和な世の中を維持しようとする、強い意志と努力のたまものなのです。日本がメダルをいくつ取ったとか、騒ぐのもいいですが、時には、平和の象徴である、オリンピックという祭典が、開催されたことに感謝し、今後も平和な世の中を、継続させようと、改めて誓う機会としたいものです。少なくとも、戦争は遠くの、見知らぬ国で起こっているもの、という考えは無責任であり、我々一人一人が、平和の尊さを自覚し、守り通していかなければなりません。

さて、私は、校長として、この二年間、皆さんには「凡事徹底」、平凡なこと・当たり前のことを、徹底して実行してください、当たり前のこととは、相手の目を見て、あいさつすること、授業を大切にするため、家庭学習を習慣化すること。以上二点について、繰り返し繰り返し訴えてきました。卒業式でも同じです。「凡事徹底」、当たり前のことを、徹底して、できる人間になってください。ただし、この「当たり前のこと」というところを、「自分にとって大切なこと」と置き換えてほしいです。家族や友人が、大切と考える人もいるでしょう。社会に貢献することが、大切と考える人もいます。これが、皆さん一人一人の、人生における、指針となるのです。これからの人生は、必ずしも、常に順風満帆とはいきません。人生の岐路にあたるたびに、どちらの道を進むべきなのかを、迷いながらも、判断しながら生きていくことになります。そのときには、易きに流されず、普段から大切にしていること、つまり信念を思い出し、大切だと思う道を、選択することです。これが、信念を貫き通す生き方、というものです。自分で選んだ道なら、努力することができます。努力できれば、後悔はしません。

さて、鹿島高校で学んだ先輩方は、現在、日本全国に散らばっており、各地で、なくてはならない重要な存在として、活躍しております。また、地元のリーダーとして、活躍している人材も、数多くいらっしゃいます。皆さんは、地元に残る人、他県で大学等に進学する人など、進路は様々ですが、進学する人でも、やがていつかは職に就きます。数年後、どこで働くかを考えたとき、皆さんに、ぜひお願いしたいことは、皆さんのふるさとである、この地元に戻ることも、選択肢の一つとして考えてほしいのです。茨城県が、全国魅力度ランキング・ワースト一だといわれていますが、住んでいる人間なら、茨城県が、本当は、素晴らしいところであることはわかっています。特にこの県東地域は、将来性豊かな、魅力的なところです。このふるさとを、もっと素晴らしく、発展させることのできるリーダーとして、その役目を担うことができるのは、鹿島高校の卒業生だと、私は自信を持って言えます。百年以上の、長い歴史で培われてきた伝統。「自治、勤勉、快活」の校訓。鹿島高校での三年間で磨いた能力は、必ず、社会に出て、リーダーとして活躍するときに、生きてきます。自信と誇りを持って、堂々と人生を歩んでください。そして、ふるさとに、貢献できる人材になってくれると、なうれしいです。

さて、卒業生の保護者の皆様、お子様のご卒業、心からお祝い申し上げます。皆様方には、三年間にわたり、本校の教育活動推進のために、暖かいご支援と、多大なるご協力を賜りましたこと、改めて、御礼申し上げます。また、ご多用の中、ご臨席いただきました、ご来賓の方々におかれましては、これまでの、本校へのご支援、ご協力に、心より感謝申し上げます。

二百八十名の、卒業生の皆さん一人一人が、それぞれの世界に向けて、力強く旅立ち、限りなく発展されますことを、心より祈念し、式辞といたします。

平成三十年三月一日

茨城県立鹿島高等学校長 横田 宏之